

平成 30 年 1 月 10 日

「学び合う学び」の授業・参観のポイント

一身田中学校

一身田中学校は、平成 26 年度から「学び合う学び」の授業に取り組んでいます。1 月 20 日（土）に実施いたしますフリー参観では、保護者の皆さん、学校関係者の皆さんにも、以下の点を参考に授業をじっくり観ていただき、感想をお聞かせください。（参観日当日に受付で準備します別紙「ご意見をお聞かせください」にご記入ください。）

① 授業での「学び合いのルール」をつくっています。

- ① 人の話は、よく聴こう！
- ② わからないことは、「教えて」と自分から聴こう。
- ③ きかれたら、ていねいに教えよう。

② 机の配置は、コの字が基本です。そこから、早い段階で、3～4 人グループや 2 人ペアでの学習に切り替わります。

これまでの授業は、「教師が、黒板の方を向いた生徒たちに対して教える」といった形の授業が中心でした。しかし、これからの時代を生きる子どもたちには、「与えられたことができる」力だけでなく、「周りの人とつながり、協同して課題を克服していく」力を育むことが必要だという考えに基づいています。

③ 子どもたち同士のつながる関係を大切にします。

教師と生徒がつながることより、生徒同士をつなげることを意識して授業を行います。生徒は仲のいい者同士がつながるのではなく、誰とでもつながる関係をめざすので、自分のグループを飛び越えてつながっていくのは NG です。また、子どもたちが「先生、先生」と呼んで質問しようとする場面があっても、教師はその質問に答えません。その質問を周りの生徒に投げかけ、子ども同士をつながる関係づくりを行います。

④ やわらかい落ち着いた雰囲気の中で、じっくり深く学ぶ授業をめざします。

集中して考えるには、落ち着いた雰囲気が必要です。教師も、元気な大き

な声ではなく、しっとり、穏やかに話すように心がけて授業をすすめます。子どもたちのテンションを上げてしまい、じっくり深く考えることを妨げないようにするためです。子どもたちも、声のトーンを落とし、優しくささやくような声で学び合いを行います。「ハイ、ハイ、ハイ」と元気に手を上げる授業は、求めています。

⑤ 話し合いでなく聴き合う関係、教え合いでなく学び合う関係をつくりまします。

わかっていること、理解できたことを発表するにぎやかで、活発な話し合いは求めています。わからないこと、つまずいていることを安心して聴ける関係を大切にするためです。また、一方向の教える、教えられる関係をつくるのではなく、誰かに訊かれたら、その時ははていねいに応えることを大切にします。訊かれたことをわかりやすく教えられることで、学習内容の理解がより深まります。聴く方も教える方も、お互いに学び合う授業をめざします。

⑥ 授業中の子どもたちの表情を観てください。子どもたちのつながる関係を観てください。

夢中になって取り組んでいるか、集中して考えているか、わからないことにも挑戦しようとしているか、つまずいていることから逃げずに粘っているかを観てください。そして、周りに聴きたいときに聴けているか、訊かれたときにその声に応えているか、困っていそうな様子を見かけたら声を掛けているかを観てください。ただし、おせっかいな声掛けは求めています。

⑦ 授業では、「共有の課題」と「ジャンプの課題」があります。

基本的な内容で、教科書や資料をもとに調べたり、これまで学んできたことをもとに考えたり、周りの人に聴いたりして解決できるような課題を、「共有の課題」として授業の前半部分で行います。後半は、「共有の課題」で得た知識、技能、考え方などを活用しなければ解けないような、「骨のある」発展的な課題を行います。これを「ジャンプの課題」と呼んでいます。「ジャンプの課題」は、教科書レベルを超えて上の学年で扱うような内容もあります。そして、それぞれの教科の本質である「教科の見方、考え方」などを授業担当者が意識し、じっくり深く取り組ませる課題を考えて子どもたちに示します。